

Hello! FUJISEI

No. 70

「年金定期便を見て、老後生活資金について真剣に考えるようになった」という人も多いようですが、資金準備のための方法は様々です。

総務省の「家計調査年報」によると、平成22年平均の二人以上の世帯の1世帯当たり貯蓄現在高は1657万円で、前年比1.2%増でした。一方、年間収入は616万円で前年比2.2%減少し、貯蓄年収比（貯蓄現在高の年間収入に対する比）は、前年に比べ9.0ポイント上昇し269.0%でした。このうち勤労者世帯（二人以上の世帯に占める割合53.8%）では、貯蓄現在高は1244万円で、前年比3.4%増加、年間収入は697万円で前年比

老後生活資金の準備は早めに！

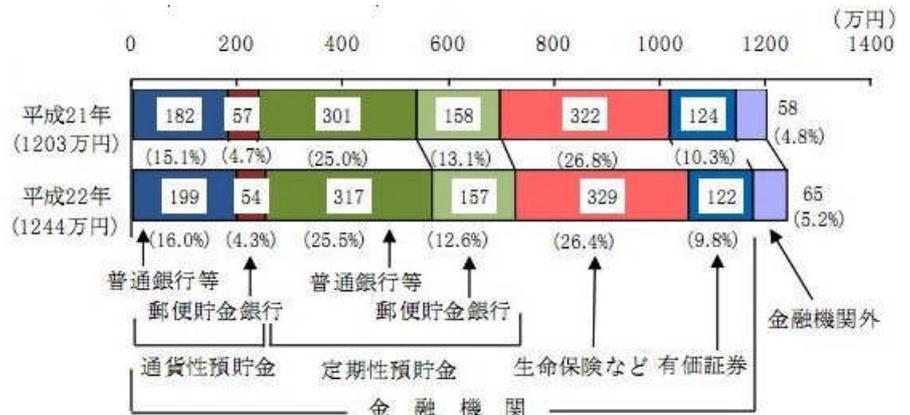
貯蓄高が多い世帯は有価証券の割合高い

1.7%減少し、貯蓄年収比は、前年に比べ8.8ポイント上昇し178.5%でした。

二人以上の世帯について貯蓄現在高階級別に貯蓄の種類別割合をみる

と、貯蓄現在高が少ない世帯ほど通貨性預貯金の割合が高く、貯蓄現在高が多い世帯ほどおおむね定期性預貯金及び有価証券の割合が高くなる傾向がみられます。

貯蓄の種類別貯蓄現在高及び構成比（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）



総務省「家計調査年報（貯蓄・負債編）平成22年 貯蓄・負債の概況」

貯蓄現在高階級、貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比（二人以上の世帯）－平成22年－

